

# 飛騨牛健康チェック支援事業 生産性向上対策事業

親牛と子牛を検査します。

## 1 事業目的

慢性疾病等(不顕性に経過する疾病や混合感染症)の飼養形態の多様化に伴う経済損失を低減するため、飛騨牛の素牛となる県内産子牛及び母牛の健康チェックを行い、子牛市場の安全性を確保するとともに、健康で安全な飛騨牛のさらなるブランド化を支援する。

## 2 事業内容

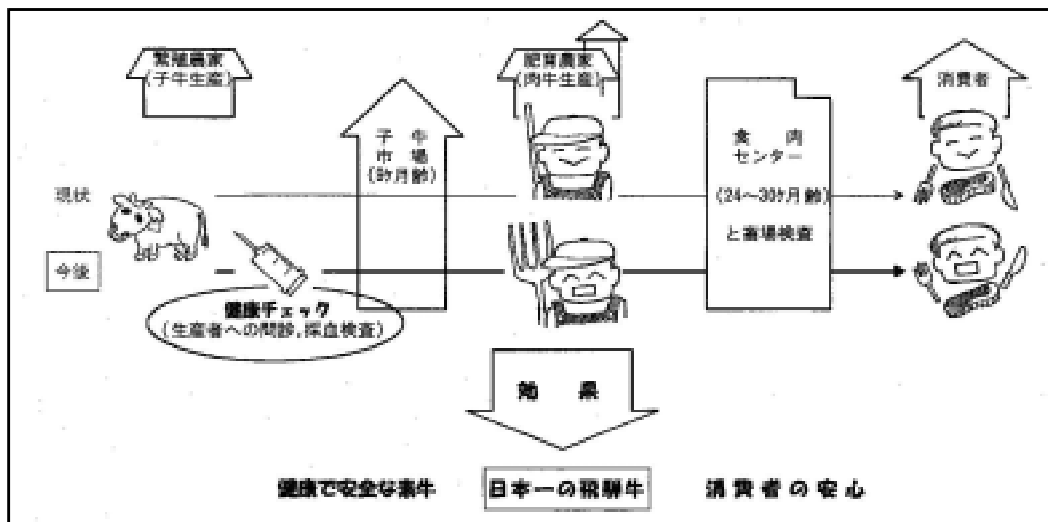
生産性向上対策により、細菌性の下痢症について検査の実施を行います。

特に人の食中毒との関連したサルモネラ菌や大腸菌 O-157 にも対応します。

また、地域の慢性疾病の動向調査のために牛白血病や肝蛭などを検査数を限定し、浸潤状況を調べます。

和牛農家に大きな影響を及ぼすヨーネ病検査を飛騨牛の主要生産地である飛騨地域をモデル地域として、概ね6ヵ月齢の子牛(出荷1~2ヵ月前)、母牛を対象に、実施しますので子牛も受検ください。

ヨーネ病は、下痢を主徴とする細菌性家畜法定伝染病で全国的にまん延の傾向がありますので、患畜や疑似患畜がないよう蔓延を防止しましょう。



飛騨家畜保健衛生所

高山市 上岡本町 7 - 4 6 8

(0577)33-1111 Fax 32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp